特例措置希望理由書

出身研究機関を受入研究機関に選定する者は、特別研究員等審査会において以下のやむを得ない事由のいずれかに該当すると判定された場合のみ、研究機関移動に関する特例措置を認めます。

- ・身体障がい、出産・育児等の理由により出身研究機関以外の研究機関で研究に従事することが難しい場合
- ・研究目的・内容及び研究計画等から研究に従事する研究機関として出身研究機関以外の研究機関を選定することが国内の研究機関等における研究の現状において、極めて困難な場合

特例措置を希望する者は「特例措置希望理由書」を提出する状況（例：出身研究機関と受入研究機関が同じである等）を明確にしたうえで、研究環境を変更できない事由を研究室の選定理由と関連づけて説明してください。

（「10. 申請手続（3）提出書類 申請書（工）特例措置希望理由書」を参照）

なお、研究上必要と認められる場合には、一定期間、受入研究機関以外の研究機関（外国の研究機関を含む。）においても研究を行うことができるので、特定の研究機器、技術等の有無をもって研究機関の移動ができない理由とすることは、原則認められません。

特例措置希望理由書	出身研究機関と受入研究機関との関係：同一大学

申請者登録名 _____

(このページには何も記載せず、空白のまま提出してください。)